

# 神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第111号

平成30年1月25日発行  
事務局：県立青少年センター  
科学部 科学支援課  
電話：045-263-4470

## 相模原に子ども達の歓声響く



年間4回(4地域)開催する「子どもサイエンスフェスティバル」の2回目が、1月13日(土)に相模原市立青少年学習センターで行われました。当日は天候にも恵まれ、709名の来場者(昨年度の同地区大会の1.4倍)の皆さんに、工作や実験を楽しんでもらいました。

\*\*\*\*\*

### 子どもサイエンスフェスティバル相模原大会

昨年同様に12団体に出展していただきました。開場前から建物を取り囲むように、今までにないほどの入場待ちの列ができました。開場後は、どのブースも工作したり、実験したりする子ども達であふれていました。



相模原市立青少年学習センター  
(相模原大会の会場)

<p><b>1 何だろう、ペーパークロマトグラフィー?</b></p>	<p><b>2 フラーレンボールをつくろう</b></p>	<p><b>3 DNAの模型を作ろう!</b></p>
<p><b>さがみはら科学探検隊</b></p>	<p><b>三浦学苑高等学校 科学部</b></p>	<p><b>協和発酵キリン株式会社</b></p>
<p>水性サインペンのインクを水で分離すると様々な色が現れます。黒から赤が出てくることも。これを利用して紙にきれいなお花を咲かせました。</p>	<p>PPバンドを組み合わせて、サッカーボール状のC<sub>60</sub>分子の模型を作りました。高校生たちが一生懸命に子ども達に作り方を教えていました。</p>	<p>チューブとモールを使ってカラフルなDNAの二重らせん模型を作りました。作った後は、白衣を着て博士気分で記念撮影をしました。</p>
		
<p><b>4 かるたでバトル! 宇宙のいきもの</b></p>	<p><b>5 君は自分で自分の体を持ち上げることができるか</b></p>	<p><b>6 偏光板万華鏡を作ろう</b></p>
<p><b>生命の起源かるた制作チーム</b></p>	<p><b>神奈川県環境学習リーダー会</b></p>	<p><b>自然科学に親しむ会</b></p>
<p>かるたを通じて、生命の起源を探りました。動物も植物も全ての生き物のご先祖様はひとつ?白熱した対戦で宇宙と生き物の謎を探りました。</p>	<p>パスカルの原理の応用で、ビニール袋に息を入れると、空気力で重いものを持ち上げられました。もちろん自分の体も持ち上げられました。</p>	<p>2枚の偏光板にセロファンをはさみ、様々な色や模様が見える万華鏡を作りました。セロファンの種類・厚さ・枚数を変えると色も変わります。</p>
		

<b>7 デジタルカメラとあそぼう！</b>	<b>8 紫外線チェックプレスレット</b>	<b>9 身近なもので万華鏡を作ろう</b>
<b>株式会社リコー</b>	<b>科学あそび隊</b>	<b>WDB エウレカ株式会社</b>
<p>まず、デジタルカメラの基本的な仕組みを学びます。その後、自分がモデルとなって合成写真を撮影してシールにしてもらいました。</p>	<p>紫外線を吸収して変色するビーズと蓄光ビーズを使い、紫外線を検知するプレスレット（腕輪）を作成しました。</p>	<p>万華鏡や光についての説明の後、分光シートをつけた筒をのぞくと光の色が分かれて虹色に見える万華鏡を作りました。</p>
		
<b>10 磁石のふしぎ ～リニアモーターカー～</b>	<b>11 「イッテコイ」を作って遊ぼう</b>	<b>12 10分で地層から鉱物を取り出そう！</b>
<b>一期会</b>	<b>古谷理科教育研究所</b>	<b>神奈川県立向の岡工業高等学校</b>
<p>磁石と電磁石の力比べや、磁力線の観察をしました。また、電磁石電源を操作してリニアモーターカーを走らせる体験もしました。</p>	<p>転がすと戻ってくる不思議なおもちゃを、円筒状容器と輪ゴムとおもりで簡単に作りました。立ててグルグルさせると面白い動きをします。</p>	<p>地層から採った砂をよく洗い流し、鉱物（宝石の仲間）を取り出しました。その後、顕微鏡できれいな結晶を観察しました。（地球惑星科学部）</p>
		

## 出展者アンケートから

今回は、出展者の方々から後片付け終了後にいただいたご意見を掲載します。

- 整理券でしっかり管理されていたのでお手伝いし易かった。幼児から小学校高学年まで幅広い年代に興味を持たれた。
- 整理券で人数制限があると、参加できない子がいてかわいそうに思いますが、混乱することがないのでよいと思います。
- 開場から活気づいていましたが、ブース毎の整理をさせるのに苦労しました。テープ等で補助線を床に貼ることで、混雑を少しでも減らせるのではないかと思います。
- 「科学」フェスティバルなので、小学生なら高学年、中学生が喜んで来るようなものにしたい。一方では相当な基礎知識がないと子供が理解できない出展もあった。
- 実験体験型ブースだったので説明に力が入りすぎ、声枯れ寸前の状態でした。良い経験になりました。

- いつも子ども達の作り終えた笑顔に「やってよかった！」と励まされます。今後もこのような催し物にたくさん参加したいと思います。
- 子どもの真剣な顔と、工作が仕上がったときの笑顔にいやされていつも元気をもらっています。
- 理科に関心がある子どもがたくさん来てくれたので教えたりするのが楽しかったです。子どもだけでなく大人も楽しめていたと思います。
- どのブースも小さなお子さんから大人まで楽しめるものだったと思います。私自身もとても楽しめました。
- 子ども達が目をかがやかせていたのが印象的であった。
- 工作の予約運用が難しく、一部来場者にお断りをしてしまった。次回の反省としたい。

## 事務局から

3月の理事会、総会のご案内を事務局から送信しました。

理事会の出欠は2月13日(火)までに、総会・研修会・懇親会の出欠は2月16日(金)までに事務局にご連絡ください。(事務局：村上、高相、山田、宮城)



センター開館  
55周年